



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月10日

上場会社名 株式会社 ニッチツ

上場取引所 東

コード番号 7021 URL <http://www.nitchitsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松原 祐生

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務取締役 管理本部長兼 経営管理部長 (氏名) 艸薙 望 TEL 03-5561-6200

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	5,889	4.9	17		45	116.9	178	
2022年3月期第3四半期	5,613	12.7	93		20	66.4	10	

(注)包括利益 2023年3月期第3四半期 228百万円 (%) 2022年3月期第3四半期 18百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	85.87	
2022年3月期第3四半期	4.90	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	15,068	10,586	70.3	5,084.28
2022年3月期	14,986	10,860	72.5	5,241.02

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 10,586百万円 2022年3月期 10,860百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		15.00		15.00	30.00
2023年3月期		15.00			
2023年3月期(予想)				15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,900	0.6	90		90	88.3	160		76.84

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	2,130,000 株	2022年3月期	2,130,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	47,878 株	2022年3月期	57,885 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	2,078,148 株	2022年3月期3Q	2,069,300 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提条件その他の事項につきましては、添付資料の2～3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、インフレ進行とそれを背景とした各国政策金利の引き上げにより、景気持ち直しのペースが鈍化する一方で、中国におけるコロナ政策変更による影響もあり先行き不透明な状況が続いております。日本経済は、設備投資が増加する一方で輸出が鈍化、個人消費は物価上昇が継続するも経済活動の正常化が進み、緩やかに持ち直しています。

そうした中、造船業界では、新造船受注は鋼材価格の高騰と用船市況の軟化により前年同期に比して減速し、竣工量も低い水準に留まりました。

当社を取り巻く事業環境については、機械関連事業の船用機器部門は、前年度からの国内造船所の受注積上げを反映し需要に回復が見られました。産業機器部門は、水力・風力発電等に需要が見られるものの、火力発電、製鉄関連は引き続き厳しい状況にあります。また、資源関連事業については、半導体関連分野において、一部最終消費財に陰りが見られるものの、全体的に需要は堅調に推移しました。賃貸ビル業においては、都内オフィスビルの平均空室率は横ばいから上昇に転じ、賃料は下落傾向が継続しています。

上述の如き環境の下、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,889百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は17百万円（前年同期は93百万円の営業損失）、経常利益は45百万円（前年同期比116.9%増）、災害による損失106百万円、事業構造改革費用67百万円及び関係会社出資金売却損42百万円を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純損失は178百万円（前年同期は10百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

事業分野別の概況は次のとおりであります。

①機械関連事業

船用機器部門は、船殻ブロックが堅調に推移し、ハッチカバーも売上回復途上にあります。工数増による不採算工事が一部発生しました。産業機器部門も、製鉄関連での売上の減少を水力・風力発電等重電関連によりカバーいたしました。一部工事における工数増により受注損失引当金が増加しました。

この結果、機械関連事業全体では、売上高は3,353百万円（前年同期比6.2%増）、営業損失は124百万円（前年同期は196百万円の営業損失）となりました。

②資源関連事業

結晶質石灰石部門は、2022年9月末をもって事業を終了いたしました。ハイシリカ（精製珪石粉等）部門は、半導体関連が中国向けの需要減を国内向けの旺盛な需要でカバーし、光学関連も半導体関連向けガラスの需要が大きく伸びたことに加え特殊ガラス用途が需要増となり、同部門全体として大きな増収となりました。

この結果、資源関連事業全体では、売上高は1,864百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は86百万円（同1,039.9%増）となりました。

③不動産関連事業

売上高は前年度並みの101百万円（前年同期比4.5%増）に対し、修繕維持費の増加により、営業利益は28百万円（同17.6%減）となりました。

④素材関連事業

耐熱塗料部門は、前年度好調であった輸出が伸び悩み、一方でライナテックス（高純度天然ゴム）関連部門は、前年度のスポット要因の剥落を新規顧客開拓等の営業活動で補いました。

この結果、素材関連事業全体では、売上高は569百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は22百万円（同59.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、15,068百万円となり、前連結会計年度末比82百万円増加いたしました。これは、主に、現金及び預金の増加等により流動資産合計で345百万円増加したことによるものであります。

負債合計は4,482百万円となり、前連結会計年度末比355百万円増加いたしました。これは、主に、その他に含まれる未払金等が増加したことによるものであります。

純資産合計は10,586百万円となり、前連結会計年度末比273百万円減少いたしました。これは、主に、利益剰余金等が減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は70.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「特別損失の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,342,045	4,845,976
受取手形、売掛金及び契約資産	1,928,268	1,451,467
電子記録債権	348,933	471,887
商品及び製品	143,929	160,231
仕掛品	772,892	887,566
原材料及び貯蔵品	271,900	396,235
その他	377,985	317,713
貸倒引当金	△254	△216
流動資産合計	8,185,699	8,530,861
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,563,462	1,515,984
機械装置及び運搬具（純額）	703,623	730,557
土地	2,302,680	2,302,680
その他（純額）	97,955	359,712
有形固定資産合計	4,667,722	4,908,934
無形固定資産	103,144	90,746
投資その他の資産		
投資有価証券	1,320,275	1,441,943
その他	710,452	97,140
貸倒引当金	△1,082	△1,382
投資その他の資産合計	2,029,645	1,537,702
固定資産合計	6,800,512	6,537,383
資産合計	14,986,212	15,068,244

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	628,046	624,552
短期借入金	1,224,640	1,226,800
未払法人税等	33,029	11,238
賞与引当金	83,688	21,082
受注損失引当金	91,954	140,536
事業構造改革引当金	68,351	—
資産除去債務	—	17,860
その他	737,193	1,281,797
流動負債合計	2,866,902	3,323,866
固定負債		
長期借入金	20,000	33,200
役員退職慰労引当金	22,405	24,497
役員株式給付引当金	45,088	37,030
環境安全対策引当金	4,972	4,372
退職給付に係る負債	733,681	654,917
資産除去債務	87,310	69,527
その他	345,847	334,745
固定負債合計	1,259,304	1,158,291
負債合計	4,126,207	4,482,157
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,100,000	1,100,000
資本剰余金	811,257	811,257
利益剰余金	8,695,846	8,453,507
自己株式	△106,925	△88,384
株主資本合計	10,500,177	10,276,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	271,716	362,804
繰延ヘッジ損益	1,753	△552
為替換算調整勘定	148,783	—
退職給付に係る調整累計額	△62,426	△52,545
その他の包括利益累計額合計	359,826	309,706
純資産合計	10,860,004	10,586,086
負債純資産合計	14,986,212	15,068,244

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	5,613,463	5,889,721
売上原価	4,893,944	5,131,199
売上総利益	719,519	758,521
販売費及び一般管理費	813,162	741,482
営業利益又は営業損失(△)	△93,643	17,039
営業外収益		
受取利息	300	322
受取配当金	43,801	49,502
持分法による投資利益	102,915	25,323
その他	50,271	68,186
営業外収益合計	197,288	143,334
営業外費用		
支払利息	6,522	6,321
休廃止鉱山管理費	72,553	87,335
その他	3,642	21,319
営業外費用合計	82,718	114,977
経常利益	20,926	45,395
特別利益		
固定資産売却益	509	2,653
特別利益合計	509	2,653
特別損失		
固定資産処分損	5,755	7,348
災害による損失	—	106,670
事業構造改革費用	—	67,646
関係会社出資金売却損	—	42,886
その他	1,407	—
特別損失合計	7,163	224,551
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	14,273	△176,502
法人税、住民税及び事業税	26,814	15,292
法人税等調整額	△22,673	△13,347
法人税等合計	4,140	1,945
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10,132	△178,447
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	10,132	△178,447

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	10,132	△178,447
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54,597	91,087
繰延ヘッジ損益	997	△2,306
退職給付に係る調整額	11,850	9,881
持分法適用会社に対する持分相当額	50,134	△148,783
その他の包括利益合計	8,383	△50,120
四半期包括利益	18,516	△228,568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,516	△228,568
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	素材関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,158,483	1,818,828	97,601	538,550	5,613,463	—	5,613,463
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,840	172	—	13,012	25,024	△25,024	—
計	3,170,323	1,819,000	97,601	551,562	5,638,488	△25,024	5,613,463
セグメント利益又は損 失 (△)	△196,672	7,626	34,940	56,144	△97,960	4,317	△93,643

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去9,321千円、全社費用△5,004千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	素材関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,353,242	1,864,508	101,992	569,978	5,889,721	—	5,889,721
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,256	322	—	10,275	23,853	△23,853	—
計	3,366,498	1,864,830	101,992	580,253	5,913,574	△23,853	5,889,721
セグメント利益又は損 失 (△)	△124,392	86,936	28,797	22,595	13,936	3,102	17,039

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去7,559千円、全社費用△4,457千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。